

第6回嚥下障害診療センターミーティング

平成27年3月11日

顎骨切除患者の咀嚼障害への取り組み

熊本大学大学院生命科学研究部 総合医薬科学部門
感覚・運動医学講座 歯科口腔外科学分野

福間 大喜

Introduction

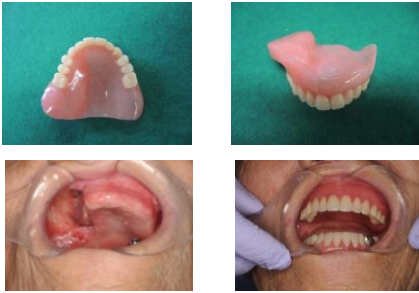
摂食・嚥下 → 食物を認識して口に取り込むことに始まり、胃に至るまでの一連の過程を指す。

- (1) 先行期: 飲食物の形や量、質などを認識する
- (2) 準備期: 飲食物を噛み砕き、飲み込みやすい形状にする
- (3) 口腔期: 飲食物を口腔から咽頭に送り込む
- (4) 咽頭期: 飲食物を咽頭から食道に送り込む
- (5) 食道期: 飲食物を食道から胃に送り込む

歯科補綴物の装着により摂食嚥下を行うための口腔内の環境を整える

歯科では様々な装置を作製できます

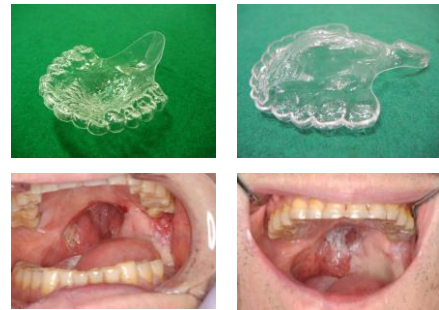
顎義歯



装着前

装着後

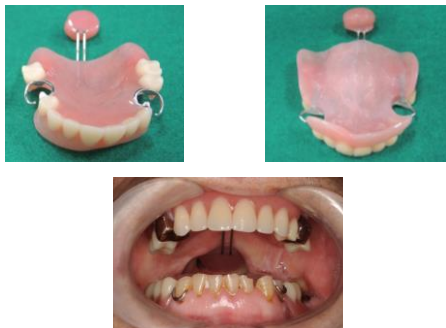
創保護床(術後閉鎖床)



装着前

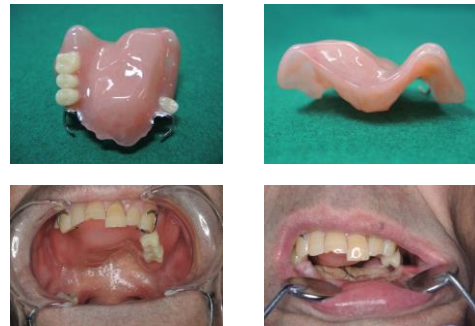
装着後

スピーチエイド



装着後

舌接触補助床



装着前

装着後

デンタルインプラントを固定源とした義歯

平成24年4月から歯科インプラント治療が保険適用になりました。

施設基準

1. 歯科又は歯科口腔外科を標榜している保険医療機関であること
2. 当該診療科に係る5年以上の経験および当該療養の3年以上の経験を有する常勤の歯科医師が2名以上配置されていること
3. 病院であること
4. 当直体制が整備されていること
5. 医療機器保守管理及び医薬品に係る安全確保のための体制が整備されていること

適応症例

腫瘍、顎骨骨髓炎、外傷等により広範囲な顎骨欠損または歯槽骨欠損症例

症例供覧

症例1

患者：79歳 男性
初診日：2011年10月
主訴：食事が普通にできるようになりたい

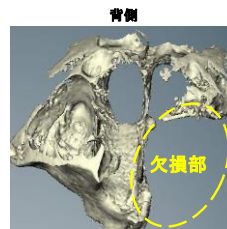


原発巣に計60Gy照射

現病歴：
47年前、他病院にて左上顎癌に対し、**上顎部分切除術と放射線療法**施行
↓
左側上顎欠損部は右側残存歯の支持による部分床義歯で補綴
↓
2007年、他歯科医院にてインプラントを2本埋入 → 1か月後に脱落
↓
2011年、右側上顎の残存歯2本が抜歯となり、使用中の義歯が装着不可となり
再度、前歯科医院でインプラントを埋入 → 20日後に脱落
↓
インプラント補綴によって食事ができるようになりたいとの主訴で当院初診

画像所見

頭側からみた3D-CT



背側

欠損部

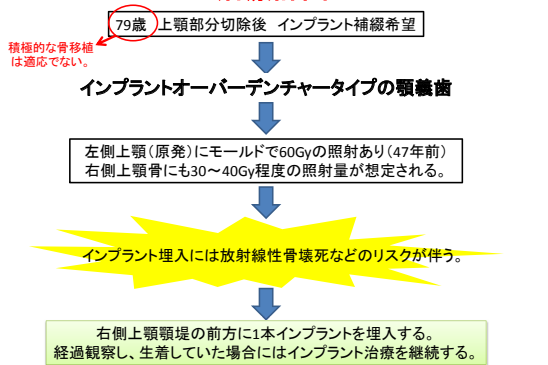
腹側

歯科用CTから構築したオルソパントモグラフィ

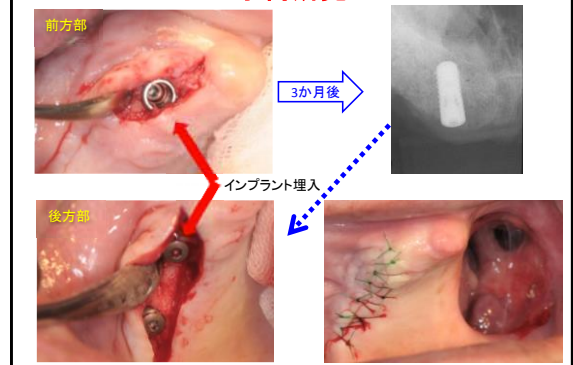


上顎は無歯顎
左側上顎は術後で広範囲な欠損が認められ、義歯の支持は得られない。

治療計画



手術所見



最終補綴物



現在、術後年以上経過しているが、インプラントの脱落なく、経過良好。

症例2

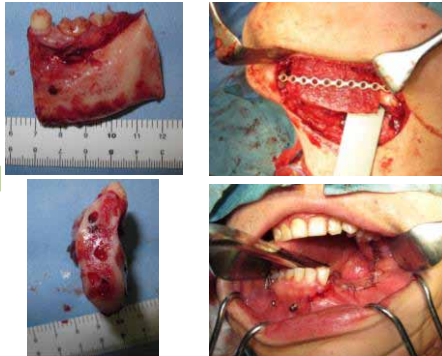
患者：24歳 男性

現病歴】

- H15年4月頃 左側下顎臼歯部の腫脹を自覚。
 7月4日 外来局麻下で開窓術施行。→エナメル上皮腫との診断
 オブチュレータ作製し、外来follow。
 H16年
 3月29日 全身麻酔下で摘出術施行。
 その後、4/15を最後に受診が途絶えた。
 H23年
 7月29日 再発を認めたため、外来麻酔下で開窓術施行。
 オブチュレータ作製し、外来follow。
 H24年
 2月28日 全身麻酔下にて摘出開窓術施行。
 H25年
 3月6日 全身麻酔下にて左側下顎骨区域切除術・腸骨移植術施行。
 H26年
 2月4日 左下顎臼歯部インプラント埋対3本)

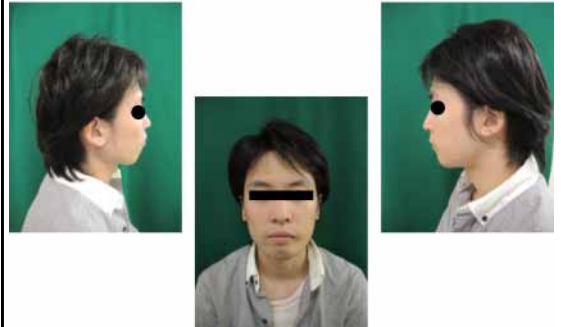
【既往歴】 特記事項なし

手術所見 H25年3月6日



摘出検体

口腔外所見 インプラント埋入前



口腔内所見 インプラント埋入前

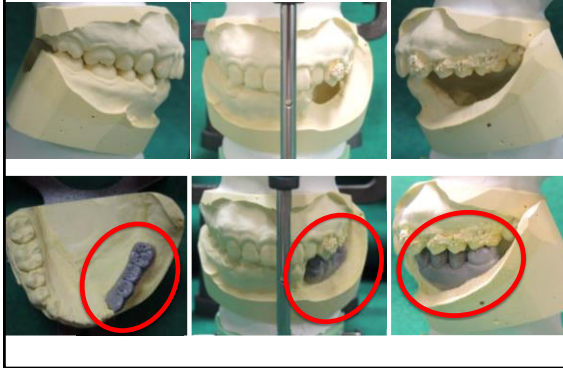


オルソパントモグラフ所見

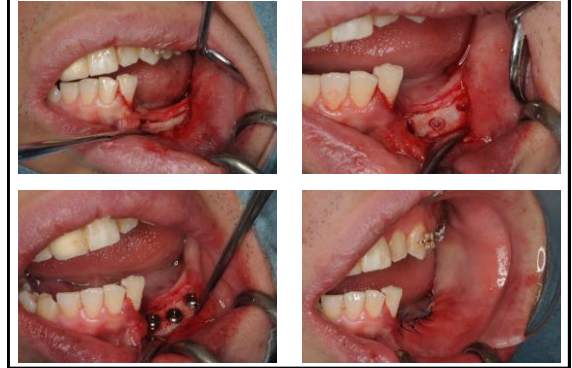


移植した腸骨の癒合状態は良好。

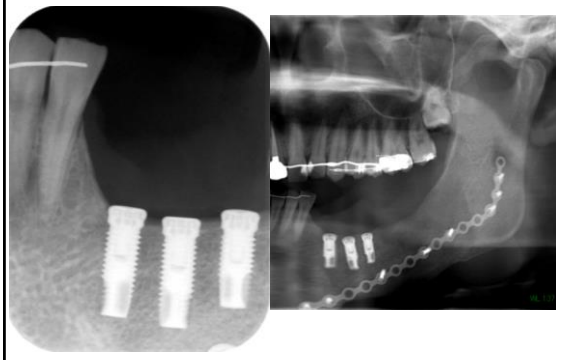
診断用模型



インプラント埋入 術中写真



埋入直後のレントゲン



術後1か月

口腔内写真



デンタル所見

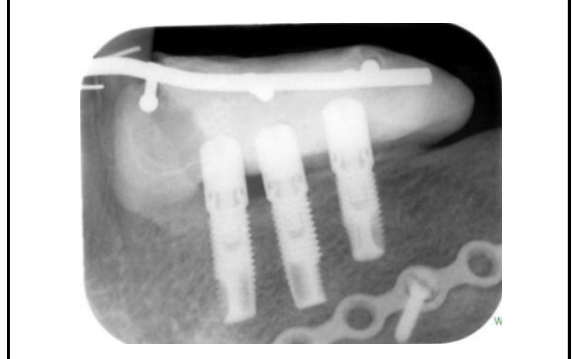


インプラント周囲の明らかな骨吸収は認めず、経過良好

インプラント2次手術
口蓋粘膜移植術



術後デンタルX-p所見

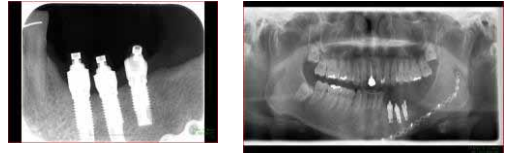


口腔内所見
術後3週間経過

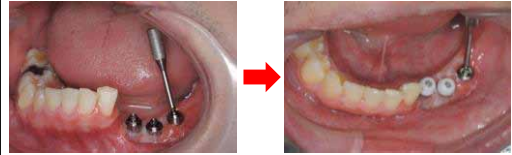


左下創部：口蓋粘膜の移植状態良好口唇の動きに連動しない。
左口蓋：表面は上皮化傾向。肉芽の増生あり。治癒状態良好

口腔内所見 H26年10月9日
アバットメントコネクション 角度調整)



近心から5mm, 4mm, 17° 角度付6mm



最遠心の補綴軸変更前

補綴軸変更後

口腔内所見 H27年2月6日 咬合採得 かみ合わせの高さの設定)



前歯部は咬合時にDeep Bite

歯肉の清掃状態はやや不良



咬合採得用の上部構造を装着

咬合採得

完成した上部構造 仮義歯)



咬合面観

舌側面観



基底面観

唇側面観

口腔内への装着時 仮義歯)



装着前の歯肉の状態

正面の咬合状態



側方の咬合状態

装着時の咬合面観

仮義歯装着時の顔貌所見



装着時の正観



装着時の口元の所見

最後に

補綴装置を作製し、装着することで劇的に口腔内の環境が変化する

最近、症例によってはデンタルインプラントを応用した義歯に
保険が適用されるようになった

様々な歯科のアプローチを駆使することにより、
嚥下障害の改善に寄与することができる

コンサルトお待ちしております